





### 宿命

農村疲弊の聲は可成りに久しい叫びではあるが、幾年経つても救済の途は講せられず、反對にその聲は年々細りゆくだけのことで中農以下の生活は片づ端しから破壊せられ危機に瀕してゆくだけである。

無産農民救済といふ自作農創設低利資金や各種の救済資金等の高踏的農村救済策が農村にふりまかれても、それは幾分かの信用と財産を、残存してある中農以上の農民を消極的に搾取するだけで最底層に益々大半の農民には田圃を渡る春風程の恩恵をも與へてゐない。

世の爲政者、學者が農村救済の聲を大にしたところで現在の制度施設を以てしては農村の救済等とは百年河清を俟つての類だ、現在の農村の状態は生存権の剝奪、生活範圍の縮小である。

最近本縣統計課が發表した四年十月現在調査の本縣職差別人口は前年より總數に於て増加したに拘らず農業従事者が前年より二百四十余の減少を來してゐることは、都會病患者が多くなつたばかりでなく生活範圍の縮小によつて餘儀なく轉業の止むなきに至つた現在の農村の状態を遺憾なく物語つてゐるではないか。

土に生れ、土に生き、土に死すべき運命を持つてゐる農民は、如何に生活が脅かされやうと、土に對しては宗教的熱愛を持つてゐるものである。それが祖先發祥の地を捨て、貧乏と病菌の巢窟たる都會に走らねばならぬことは單に背負はされた宿命として黙然と受けか否かを深く考へさせられる。

コロンビア・レコード  
鈴木傳明……吹込  
田中絹代……吹込  
進軍の唄  
断然レコード界を  
リードせる好吹込  
各會社レコード新譜取揃  
賣

壹時計店  
平屋  
常盤  
電話三三九番

BISHINGAN  
子宮美神丸  
一自薬日  
僅宅便簡・價安  
か療卓・効不・想理  
五秘・効卓・便簡・價安  
の治の密秘・効卓・便簡・價安

●こんな徴候の人々は一時も早く治療すべきです  
●血帯下、赤帯下、コシケ多き人、下腹痛、筋張り又は  
●つる人、子宮冷込、腰脚の冷え又は痺れる人、月經不順  
●月經時に腹痛、腰痛、神経衰弱、ヒステリーの人、月經不順  
●人、子宮痛、腰脚痛、下血、子宮炎、子宮癌、尿意頻  
●頭痛、耳鳴、眩暈する人、肩が凝り又は背が痛む人、逆産  
●早産する人  
●定價 一週分 一・四〇 二週分 二・八〇 三週分 三・五〇  
●五週分 一・八〇 十週分 三・五〇

代理店 平町五丁目 山野邊藥局

セキヤ草  
祛痰  
鎮咳液  
特約店  
關内藥局  
番〇四話電 目丁四町平

君はい、型の洋服を求められたね。誰だね？いや君コレは例のソレ正札堂と

通場車停町平  
堂札正

パラソル  
傘  
時代の流行を代表する柄合  
旅行に、郊外の散策に  
装身具の御用意は「ツルヤ」へ  
可愛らしいお子様方のために  
小さな日傘と……明るい初夏の帽子

平 四丁目  
ツルヤ  
電一四〇

貸切自動車の御用命は  
昭和タクシーへ  
高級車で乗心地の好い  
昭和タクシー

電話は 三三四三番  
平 驛前

平看護婦會  
會長 清野キヨ  
平町字南町 電話三〇七番

看護婦派出の需めに應じます

荆妻鏡子病氣ノ處五月一日  
午前六時三十分死去致候間  
此段御通知申上候  
追て葬送の儀は五月六日午後二時播磨  
小路自宅出棺大寶寺に於て佛式にて執  
行仕候  
昭和五年五月一日  
福島縣石城郡平町田町六四  
市原卯太郎  
外親戚一同

五月三日ヨリ五日間  
非常警戒  
日活超特作現代映畫  
小杉勇・岩間信夫・瀧花久子・夏川静江 其他  
松竹特作時代映畫  
月形半平太  
林長二郎……主演  
日活特作時代映畫  
貝殻一平  
光岡龍三郎・酒井米子……主演  
松竹活 館 電四六六

高久病院  
平町田町(電話五二三番)  
醫學士 高久 忠  
新瀨醫學士 赤羽 雄  
藥劑士 佐竹 菊  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

萬病の靈藥  
故長井博士の推奨せる  
別府鑛泉 定價一圓也  
地方一手販賣 平町五丁目 山野邊藥局